



# 見沼のほとり

第 12 号  
令和7年2月28日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

## 地域の方々に感謝

校長 金子 慎一郎

先日、1月31日に教育委員会から連絡がありました。内容は昨年12月3日にさいたま MY SCHOOL ファンド 学校応援型の制度を利用したの寄附金があったとのことでした。

さいたま市では令和5年7月からさいたま市「ふるさと応援」寄附（ふるさと納税）の寄附金使いみちの1つとして、寄附者が応援したい学校を選択できるようになりました。

寄附金は、教育財務課で受け入れ、指定された学校に、同課から寄附金の同額の予算を配当されます。配当された寄附金を活用して、学校判断で備品又は消耗品を購入させていただきます。ミライ～さいたま MY SCHOOL ファンド～については市のホームページに掲載されています。

（市HP：トップ>子育て・教育>教育>教育委員会>さいたま市教育委員会の主な事業>投資先はミライ～さいたま MY SCHOOL ファンド～）

土呂中学校では、令和6年度 MY SCHOOL ファンド 学校応援型の寄附金で防草シートを購入させていただきました。地域の皆様はご存じだと思いますが、土呂中学校は緑が多く、グラウンドも他校に比べて広い学校です。近年グラウンド周辺の雑草が授業に支障をきたすほど広がっていて、草の成長期には草の刈り取り作業を2週間に1回行わないといけない状態でした。そこで、除草が難しい斜面や奥まったところに除草シートを設置して生徒が活動できる環境を維持させていただきました。



話は変わりますが、先日学校運営協議会が開催され活発な意見交換が行われました。本校の学校評価と学校自己評価シートを基に、今年度の教育活動として評価できるものと課題として次年度に引き継ぐものなどについて熟議がなされました。詳しくは学校のHPをご確認ください。この会議の中で委員の方々から、「土呂中の生徒は素直で、あいさつも良くしてくれる」とお褒めの言葉をいただきました。授業を受ける態度にも「落ち着いていて、集中している生徒が多いですね」と感心されていました。さらに「人命救助を行うことが出来たり、一緒に高齢者と横断歩道を渡ってあげたりができる生徒がいて良いですね」と土呂中学校の良いところを話してくださいました。

しかし、学校評価の結果を見ると、【授業中の小テストや定期テスト前の質問会、スタディサプリなどのICT教材等に積極的に取り組み、基礎的な学習をしている】の項目で、大変そう思うと回答した割合は17.6%でした。反対に全くそう思わないと回答した割合が13.1%で、基礎的な学習の一層の充実は、次年度に向けての課題だと捉えています。また、【機会があれば、PTAや地域ボランティア活動に積極的に参加したいと思っている】の項目で、大変そう思うと回答した割合は15.2%でした。学校運営協議会では、地域との連携を深めていくことを課題としていましたので、次年度に向けてPR活動を充実させていきたいと考えております。令和9年度の県公立入試では「自己評価資料」にもとづく面接試験が実施される予定です。中学校でどのような活動をしたかを述べる際に、自分が活動したボランティア活動のことを紹介することもできると思います。是非、次年度は積極的な参加を期待したいところです。最後に、令和7年度は開校30周年を迎えます。引き続き見守っていただければ幸いです。